



ロバート・ウォルターズ アジア雇用調査
2011年 第3四半期

ROBERT WALTERS

ROBERT WALTERS JAPAN

ASIA JOB INDEX

Q3 2011

「ロバート・ウォルターズ アジア雇用調査」では、日本、シンガポール、香港および中国における大手求人情報サイトおよび国内紙に掲載された雇用枠に関する求人数を追跡記録し、雇用市場の動向を調査しています。

更に詳しい情報は、ロバート・ウォルターズのアジア雇用調査ウェブサイト（英語版）をご覧ください。
www.asiajobindex.com

ロバート・ウォルターズについて

ロバート・ウォルターズ株式会社は、1985年、英国ロンドンにて設立され、世界22カ国の主要都市に46の事業所を有するグローバル人材紹介会社です。

日本では、2000年より事業を開始し、全ての業界を対象に、専門分野に特化した人材紹介および人材派遣サービスを提供しています。当社は、日系中小企業から大手企業、世界有数のグローバル企業に至るまで、幅広い層のクライアント企業と取引があります。

人材紹介の業種と職種は多岐に渡り、銀行・証券、投資、不動産・保険、経理・財務、IT、法務・コンプライアンス、営業・マーケティング、人事、秘書・サポート業務、物流・購買・サプライチェーン、リテール、ホスピタリティ、医療・医薬・バイオ分野を専門としています。

第3四半期に求人募集広告が大幅に回復 JAPAN

求人広告数が大幅に回復

+35%

前年比での求人広告数の割合

ヘルスケア分野において大幅増を記録

+92%

2011年第2四半期に伸びた求人広告数の割合

ロバート・ウォルターズ アジア雇用調査

グローバル人材紹介会社、ロバート・ウォルターズでは日本、シンガポール、香港、中国、韓国およびマレーシアにおける大手求人情報媒体（新聞、求人サイトなど）に掲載された求人広告数を追跡記録し、アジア各国の雇用市場の動向を調査しています。

主な調査結果

- アジア全体で見た場合、求人広告数は第3四半期も概ね第2四半期の水準と変わらず。求人広告数は前期比2%増にとどまる。
- 第2四半期末に企業の求人活動は幾分スローダウン。こうした傾向は第3四半期に入ってからも持続。企業は、社員数の見直しおよび年度末の予算審議を控え様子見姿勢。
- 転職候補者も、経済の先行きが不透明なことに加えて、来年初頭には賞与の支払いが控えていることから、転職時期を先に延ばすことを選択。
- 日本においては、第3四半期に求人募集広告が大幅に回復。第2四半期には、東日本大震災直後ということもあり、企業の焦点は事業継続計画にあったが、第3四半期になると重点は海外事業の拡大へシフト。
- マレーシアでは、8月のいつになく長い祝日の後、求人広告数は2%減少。
- 欧米諸国における経済の先行き不透明感や不安定な金融市場動向は、中国をはじめ多くのアジア諸国の企業の求人活動に影響を与えた模様。
- 前述の通り、アジア全体で見た場合、求人広告数は第2四半期から第3四半期にかけて2%増加。前期(第1四半期～第2四半期)は21%の増加。
- これまで雇用が創出されていた多くの分野において採用と人員削減が交錯。こうした傾向は、特に会計、金融サービス分野において顕著。

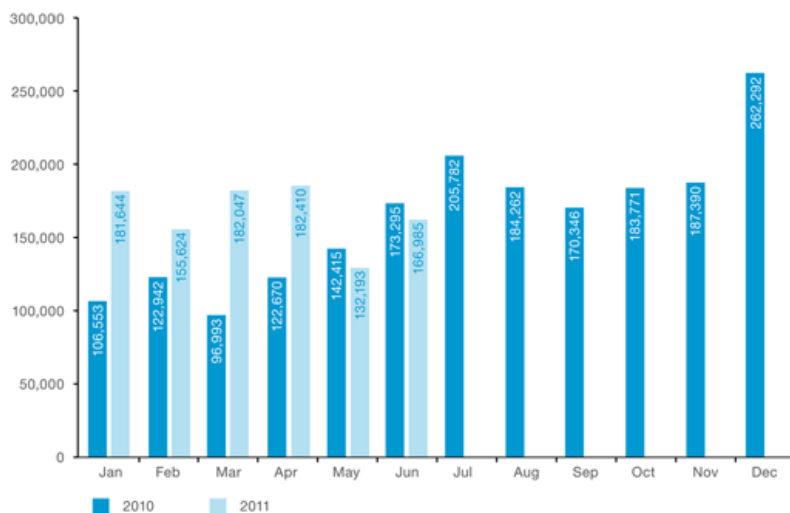
日本においては、企業の求人活動が第3四半期に力強く盛り返しました。求人広告数は、四半期ベースで見た場合、第2四半期から第3四半期にかけて106%増加、7月末と9月末を比較しても20%の増加を記録しました。円高の進行や日本企業による海外事業拡大を背景に、多くの分野において求人需要の伸びが認められました。特に管理・運営、秘書・サポート業務では、バイリンガル人材への需要が増加しています。

第3四半期に求人募集広告が大幅に回復 JAPAN

また、ヘルスケア分野においても、薬事関係法規の変更および新たな医薬品の発売を受けて、求人広告数は92%の大幅増を記録しました。さらに、クラウド・コンピューティングや新たな携帯電話技術も、ベンダー・コマース分野を中心に企業の求人活動を促す強力な要因になりました。事実、求人広告数は115%増加しました。

ロバート・ウォルターズ・ジャパンおよびロバート・ウォルターズ・コリアにおいて代表取締役社長(マネージング・ディレクター)を務めるデイビッド・スワンは、次のように述べています:「市場マインドが盛り返す中、日本では第3四半期に求人募集広告が回復に転じました。中でも、求人募集広告の増加は、営業・企画開発など消費者と直接対面する分野において顕著でした。第2四半期には、東日本大震災直後ということもあり、企業は事業継続計画に重点を置いていましたが、第3四半期になるとコスト管理や市場シェア拡大のために海外事業の拡大や再編へ新たに重点をシフトさせています。日本は依然として、転職候補者が少ない市場です。こうした傾向は、経済成長やマインドが回復する中、第4四半期以降も顕著な状態が続くものと見込まれます。しかし、向こう四半期については、世界的に先行き不透明な金融市場の動向が、金融業界を中心に企業の求人活動に影響を及ぼす可能性があります。」

広告数の月間推移のグラフ (印刷媒体とオンライン媒体の合計)



過去の調査結果など、さらに詳しい情報はロバート・ウォルターズのアジア雇用調査ウェブサイト(英語版)をご覧ください。

※日本語の過去の調査結果もこちらからご覧いただけます。

www.asiajobindex.com

METHOLOGY

データの情報源

「ロバート・ウォルターズ アジア雇用調査」では、以下の媒体を対象に求人広告の情報数を追跡しています。

日本	シンガポール
朝日新聞 (日曜・月曜朝刊)	Straits Times (日刊)
日本経済新聞 (日曜朝刊)	JobStreet (www.jobstreet.com.sg)
リクナビNEXT (rikunabi-next.yahoo.co.jp/)	monster (www.monster.com.sg)
DODA (doda.jp/)	JobsCentral (www.jobscentral.com.sg)
DAIJOB (www.daijob.com/)	JobsDB (www.jobsdb.com.sg)
Indivision (www.indivision.jp/)	ST701 (www.st701.com.sg)
キャリアクロス (www.careercross.com/)	
香港	中国
Classified Post	ChinaHR (www.chinaHR.com/)
Career Times(金曜発行)	zhaopin (www.zhaopin.com/)
Career Times (www.careertimes.com.hk)	ceconline (www.ceconline.com/)
monster(http://www.monster.com.hk)	jobchina (www.jobchina.net/)
JOBMARKET (www.jobmarket.com.hk)	recruit.net (www.china.recruit.net/)
JobsDB (www.jobsdb.com.hk)	
Classifiedpost (www.classifiedpost.com)	
香港政府 (www.jobs.gov.hk/eng)	
マレーシア	韓国
The Star	www.myjobs.kr/en/ui/landingpage.aspx
www.monster.com.my	www.peoplenjob.com/home
www.jobstreet.com.my	www.scout.co.kr/
	www.incruit.com/
	www.jobkorea.co.kr

CONTACT US

本調査に関するさらに詳しい情報をご希望の際には、お気軽にお問い合わせください。

チャイナ ボスワース (Cyna Bosworth)

マーケティング マネジャー

cyna.bosworth@robertwalters.co.jp

03 4570 1622

ロバート・ウォルターズ・ジャパン株式会社

〒150-0002

東京都渋谷区渋谷 3-12-18

渋谷南東急ビル 14 階